

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1966
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.59, No.12 (1966. 12)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19661201--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会

三田学会雑誌

1966年 12月号

論 説

- 「世界恐慌期における
ドイツの財政過程」分析・序説……………大 島 通 義 1
- ロバート・オウエンとウィリアム・ゴドウィン(下)…白 井 厚 21
- ルソー「社会契約論」の理論構造と資本主義(上)…野 地 洋 行 45
- 日本近代社会経済思想史研究の
方法と対象にかんする若干の考察(-)……………田 中 明 76
——丸山思想史学の批判的再評価——

研究ノート

- 第一インターナショナル研究
にかんする最近の動向……………飯 田 鼎 103

書 評

- 飯 田 鼎 著
『マルクス主義における革命と改良』……………玉 井 茂 116
——第一インターナショナルにおける
階級、体制および民族の問題——
- 安川正彬著
『人口の経済学』……………矢 崎 武 夫 120

新刊紹介

学位授与報告
昭和41年下半期総目次

59 卷 **12** 号

昭和41年12月1日発行
昭和41年11月13日印刷
第三種郵便物認可
発行所 慶應義塾
〒100 東京都千代田区三田

昭和41年12月1日発行
昭和41年11月13日印刷
第三種郵便物認可
発行所 慶應義塾
〒100 東京都千代田区三田

三田学会雑誌

昭和四十二年十一月号

定価 金二〇〇円(送料別)

MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 59, No. 11

November, 1966

CONTENTS

Memoirs to the Late Doctor Shinzo Koizumi

- In Memory of the Late Dr. Shinzo KoizumiS. Takahashi 1
- Koizumi Economics and Marx Labor
Theory of ValueT. Ito 26
- Dr. Koizumi as a Theoretical Economist.....T. Terao 48
- Dr. Shinzo Koizumi as a Scholar of Social
ThoughtA. Hirai 70
- Centralized Planned Economy
of Soviet Union and Management
of Enterprise through Rates of ProfitK. Kiga 104
- Professor Koizumi and Historical MaterialismT. Kotake 135
- A Bibliography of the Writings of late
Dr. Shinzo Koizumi, together with
His Chronology and a Chronological
Table of Socio-Cultural History 157

Published for

KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI

(The Keio Economic Society)

Editorial Communications to be sent to
the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai,

Keio University,

Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.

Price 200 yen

新刊紹介

サイモン・クズネッツ 著 山田雄三・長谷部亮一共訳 『戦後の経済成長』	安川正彬	126
井上幸治・入交好脩編 『経済史学入門』	飯田鼎	127
鈴木諒一 著 『くらしの中の物価』	佐藤保	128

「世界恐慌期におけるドイツの財政過程」分析・序説

大 島 通 義

(I)

一九二〇年代より三〇年代の初めにかけての時期のドイツの財政は、種々の視角からみて極めて特徴的なものであった。たとえば、まず財政支出水準の一八七一年以来の成長の傾向をみる時、この時期に、最も大規模で急速な転位が起っているのを知ることができる。国営企業を除いた全政府の支出の国民総生産に対する比重は、一九〇〇年代より第一次大戦前までの時期においては、約一五%前後の水準に止まっていたのに対して、一九二五年には二五%、一九三二年には三六・六%へと飛躍的な上昇を示した。第二次大戦直前より戦時中の時期にかけての軍事費の膨脹による支出水準の一时的な急騰を別とすれば、第二次大戦以後においても、その比重は四〇%余であり、一九三〇年代の初めに達成された水準を特に著しく上廻るわけではない。⁽¹⁾ 政府支出水準の上昇に対応して、国民所得の租税および社会保険料負担率も、一九一三年の一・五%より一九二七年の二八・三% (租税は二・六%、社会保険料は六・七%)⁽²⁾ へと増大した。また、当時試みられたある推計⁽³⁾によれば、一九二四年より一九二九年に到る時期の純投資総額の六八%は、「公共部門およびその影響下にある諸領域」の投資に

「世界恐慌期におけるドイツの財政過程」分析・序説